

スーダン・リビア・エジプト視察団報告

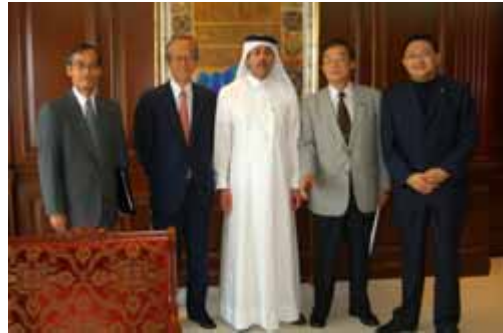
メンバー：尾身幸次（団長）、奥野信亮、西村康稔 衆議院議員、小林温 参議院議員

視察日程：11月22日～11月29日

訪問国：カタール スーダン リビア エジプト

カタール：23日午前

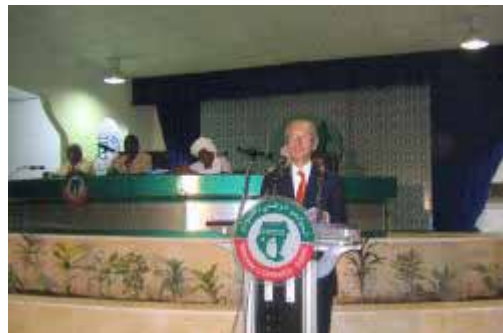
行きの飛行機の乗換えの時間を利用して訪問。アルジャジーラ衛星放送局を視察後、ムハンマド経済通商相、アティーヤ第二副首相兼エネルギー・工業相と会談。カタールは、日本に対する天然ガスと石油の供給量が第4位であり、エネルギー問題と経済関係について意見交換する。



アティーヤ第二副首相兼エネルギー・工業相

スーダン：23日夕～25日午前

23日夕、尾身団長旧知のバジル・ターハ内務大臣に空港まで出迎えられる。与党・国民会議党（NCP）党大会国際関係セッションに出席。尾身団長より日本を代表して対スーダン外交について演説。夜、ナーフィイNCP副総裁主催歓迎夕食会。20カ国ほどの党の代表団が計100名ほど招待されていた。24日午前、フィデイル国際協力相、アルジャーズ・エネルギー鉱業相、ユーセフ・スダベット（石油公団）総裁とそれぞれ会談。ユーセフ総裁は東大で博士号を取られた親日派。空いている石油鉱区の入札・開発についての要請を受け、帰国後、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）から専門家調査団を派遣するとともに、資源エネルギー庁にて日本の関連企業に対し説明会を行った。午後、スーダン科学技術大学（SUST）を視察し、ムーサ・コンピュータ科学・情報技術学部副部長、ハマド・コンピュータ科学・技術学部長、オスマーン元学長と会談。その後、ターハ内相、ターヒル国民議会議長、アコル外相、アードム科学技術担当国務相とそれぞれ会談。夜、ターハ副大統領主催夕食会。25日午前、ハルツーム大学を視察し、アッシュェイク学長との会談。その後、市内視察。国際会議場は中国のODAによって建設されており、街中に中国石油の看板広告が見られるように、石油利権の獲得を目指して中国がかなりコミットしている現状が見取れた。



国民会議党党大会にて尾身団長が演説

リビア：26日

午前、市内視察後、大学院大学にて IT 教育を視察し、サーレハ・イブラヒム院長と会談。その後、オマル・アル・ファーテハ大学副学長、アル・ファハリ高等教育省次官と会談。午後、ゲブラウィ国营石油公社ゼネラル・マネージャーと、日本企業が 6 鉱区の権利を獲得した 10 月の入札等について会談。スーダンに比べると日本企業もかなり進出



シャホーミ全国人民会議外交担当書記と会談

している。その後、基礎人民会議（地方議会）を視察し、直接民主制が採用されているリビアにおける政策決定の仕方を見る。その後、シャホーミ全国人民会議外交担当書記、カダフィ氏のいところで国際関係の責任者であるカダフィアダム氏と会談する。夜、塩尻大使主催夕食会に出席し、ズリティニ全国計画評議会書記（前国营石油公社総裁、リビア日本友好協会会長）やエネルギー省及び商工会議所関係者と意見交換する。

エジプト：25 日午後、27 日～28 日昼

25 日午後、飛行機の乗換えの時間を利用し、イスラムの休日にも関わらず出向いてくれたセラゲッディーン・アレキサンドリア図書館長と昼食会。その後、日エジプト科学技術大学（仮称）候補地を視察する。エジプト国立の高等職業訓練専門学校を、日本の科学技術を移転する工科大学にグレードアップし、日本とエジプトの友好の拠点にしようという構想で、すでに新しいキャンパスは整備され日本のコミットが必要とのこと。



ガマール・ムバラク国民民主党政策委員長と会談

27 日午前、ズィアド投資庁長官とエジプトが進める経済改革等について会談。その後、スマート・ピレッジを視察。その中にある情報技術通信省でイスメル次官と IT 政策について会談する。スマート・ピレッジでは、海外から IT 企業を誘致し情報通信技術者の養成を行っており、エジプトの IT 技術が近い将来、急速に進展することを確信した。午後、サラーマ高等教育相主催昼食会。その後、エル・バース大統領顧問と会談し、エジプトの政治・外交全般について意見交換。その後、エジプト考古学博物館を視察する。夜、楨田大使主催夕食会。サラーマ高等教育相、アブルナガ国際協力相、バドラン元保健相、リファーイ科学研究技術アカデミー会長、鈴木 J E T R O 所長他と意見交換。28 日午前、ムバラク大統領の次男で次期大統領候補と目されるガマール・ムバラク国民民主党（NDP）政策委員長と会談。その後、国立研究センターを視察し、エル・ナゼル所長から説明を受ける。その後、カイロ大学を視察し、アリー・アブドルラフマーン学長と会談。昼、邦人企業関係者との昼食会。在エジプト日本商工会の金田会長らと現地事情について意見交換。エジプトが現在進める改革の結果、経済が急速に発展しつつあることを肌で感じ帰国する。